

令和3年度 さいたま市立岩槻中学校・岩槻小学校・太田小学校 学校運営協議会による評価書

さいたま市立岩槻中学校・岩槻小学校・太田小学校  
学校運営協議会  
会長氏名 大河内 哲二

学校運営協議会による評価（協議会の委員の意見等）

【岩槻中学校に係る評価】

- 生徒のアンケート結果で、生活面に係る評価が高いことから学校で落ち着いた生活ができていることがわかる。学習面については、生徒も保護者も課題があると感じている。
- 1学期と比べると、生徒が気持ちのよいあいさつができる生徒が増えている。生徒のアンケート結果にも反映されている。
- 向上している取組について、高く評価し、PRし、生徒に自信を持たせ自己肯定感を向上させたい。
- コロナ禍で、オンライン授業など、個別に行う学習機会が増えたが、教師とのやり取りや生徒同士で協働して学習を進める機会は大切であるとする。多様なニーズに答えられるよう学習形態をバランスよく行う授業を実践してほしい。
- アンケート結果の分析方法として、1つの項目に焦点をあてて生徒、保護者、教員がどのように考えているかを示し、それぞれに考えさせる機会が設けられるとよい。また、アンケートの項目に対する目標値の設定なども検討してほしい。

【岩槻小学校に係る評価】

- 子どもたちは大変落ち着いている。元気もある。マスクをした生活の中、目を見てあいさつしてくれる子が多い。
- オンライン授業が一気に普及した。登校が難しい児童が、オンライン授業に参加し友達と交流するなど、よい面が多く見られた。
- 先生方の「子どもの教育をとめない努力」がすばらしい。日頃の感染症対策の徹底が行き届いている。先生方への負担の増加が心配である。

【太田小学校に係る評価】

- 今年度は、学校評価の保護者アンケートを学校安心メールを活用して行い、回答数が増えたことはよかったが、肯定的評価の減少は学校と保護者とのかかわり方に課題があるのかもしれない。学校の取組を積極的に情報発信していくことが大切である。
- 保護者が学校のきまりやルールを理解しているか、通知表を基に何をすればよいのかについて、保護者にしっかりと説明することが必要である。
- コロナ禍での子どもたちが不安である。不登校児童数は高学年に多い。難しい発達段階であるが、児童や保護者の話をしっかりと聞くことが必要である。

【コミュニティ・スクールに係る評価】

- 学校からの提案のみにとどまらず、各委員が提案できるよう課題意識をもって運営協議会に臨みたい。

学校運営協議会による評価を受けた学校の対応

【岩槻中学校】あいさつ等、生徒の取組の成果を高く評価していただいた。向上している生徒の取組を、教師からの賞賛や学校だより等に掲載するなどで評価し、生徒の自己肯定感の向上を図っていく。また、学力向上については、スタディ・サブリの導入により個別最適な学習の機会を保障するとともに、生徒が協働して学習する機会を継続して実施していく。

【岩槻小学校】児童が安心・安全に学校生活を送ることは、保護者の願いである。「学校の新しい生活様式」を踏まえ、感染症対策を徹底しながら、児童が主体的にかかわることができる教育活動を推進していく。また、児童の学力向上に向け、「アクティブ・ラーニング型」授業のより一層の充実を図るとともに、家庭・地域の教育力を生かせるように工夫・改善する。

【太田小学校】学校ホームページ、学校だより等あらゆる手段で学校の取組を情報発信していく。また、学級懇談会等を活用し、ルールやきまり、通知表等の意義や役割を説明していく。さらに、不登校対応について、教育相談部を要に縦や横の連携を密にし、一人で抱え込まず、組織で対応していく。

さいたま市立岩槻中学校長 松戸 政世史  
さいたま市立岩槻小学校長 中島 悟  
さいたま市立太田小学校長 千明 勉

備考 A4用紙1枚程度に簡潔にまとめ、教育委員会に写しを提出してください。